

令和元年度第1回 淀川区区政会議 議事要旨

日 時：令和元年8月8日（木）18:30～20:36

場 所：淀川区役所 5階 501～502 会議室

出席者：

- ・ 委員（22名中16名出席）
福岡委員（議長）、牧委員（副議長）、板谷委員、泉委員、久保委員、米山委員、
一丸委員、西尾委員、川合委員、石田委員、藤野委員、光在委員、泉水委員、
中道委員、福島委員、増田委員
- ・ 市会議員
坂井議員、北野議員、寺戸議員
- ・ 区役所
山本区長、中喜多副区長、西総務課長、久保政策企画課長、畑中市民協働課長、
寫岡保健福祉課長、武田保健・子育て支援担当課長、榊原教育支援担当課長、
松尾政策企画課長代理、山崎市民協働課長代理、大下保健福祉課福祉担当課長代理、
大畑保健福祉課副主幹 他

内 容：

1. 開会
2. 区長あいさつ
3. 議題
(1) 部会で出た意見を踏まえた平成30年度運営方針の振り返りについて
(2) 住民や様々な活動団体のつながり促進について
(3) 児童虐待ゼロに向けた子育て支援について
(4) 若年層のニーズ調査について
4. その他

資 料：

次第、全体会議進行表、委員名簿、座席表、配付資料一覧

- ・ 資料1 区政会議における2020年度運営方針に関する意見への対応方針
- ・ 資料2 2018年度運営方針の振り返り（概要版）
- ・ 資料3 各部会でいただいた意見の運営方針（改善策）への反映状況
- ・ 資料4 令和元年第1回淀川区区政会議 ご意見をうかがいたい内容
- ・ 資料5 令和元年度淀川区民アンケート
- ・ 議事要旨 令和元年度淀川区区政会議第1回コミュニティ力向上部会
- ・ 議事要旨 令和元年度淀川区区政会議第1回安全・安心なまち部会
- ・ 議事要旨 令和元年度淀川区区政会議第1回教育・子育て部会

＜その他＞

- ・もと淀川区役所跡地等活用事業開発事業者募集プロポーザルの実施に関する報道発表について
 - ・避難所となる中学校体育館へのエアコン整備設置追加校の選定について
 - ・体験型防災アトラクション®実施結果
 - ・淀川区防災LINEについて
 - ・よどマガ！ 8月号
 - ・ご意見票、区政会議アンケート、平成30年度運営方針評価シート
-

1. 開会

2. 区長あいさつ

3. 議題

(1) 部会で出た意見を踏まえた平成30年度運営方針の振り返りについて

●資料3について説明

(畑中市民協働課長、大畑保健福祉課副主幹、榊原教育支援担当課長、
大下保健福祉課福祉担当課長代理、武田保健・子育て支援担当課長)

(2) 「住民や様々な活動団体のつながり促進について」
各グループで意見交換を実施

●資料4について説明

(山崎市民協働課長代理)

○「教育・子育て部会」グループの意見発表(発表者：泉水議長)

- ・子ども会やPTA活動を通じて活動を始めると多いのでその部分のマッチングを重視してみてもどうか。
- ・区役所は、よどマガやチラシで、ニーズの情報を伝えてみてどうか。
- ・若者のマッチングのきっかけとして「スポーツ」が考えられる。スポーツがきっかけで地域と関わり、それにより自分の子どもや、地域の子どもに活動が伝わっていけば地域活動に参加する連鎖が生まれるのではないかと。
- ・町会や地域団体にとらわれず、気軽に地域に参加できる組織があれば良い。
- ・住民が地域にかかわり始めるきっかけは、子育てを始めてからが多いことから、子育てサロンに力を入れてみてどうか。

○「安全・安心なまち部会」グループの意見発表（発表者：泉議長）

- ・住民ニーズや企業ニーズをアンケート等で把握し対策を練る。
- ・地域活動をしたいと思っているのにしていない人が3割おられるが、なぜ地域活動をしていないのかを分析する必要がある。
- ・参加者が近隣住民である地域行事に参加しにくい人には、気軽に参加できる区役所でのイベント等に参加してもらい、そこから地域行事にも少しずつ参加してもらえるようにすればいい。
- ・初めて地域活動に参加される方の居場所を作るために、きちんと役割を与えた方がいい。地域活動に参加して得られる充実感を感じてもらい、次の参加につなげる。
- ・男性の中には地域活動に参加しにくい人もおられるので、入り口を作ってあげる必要がある。
- ・地域活動に参加してもらうきっかけは、人を介して参加してもらうことが多い。
- ・企業が地域行事に参加する際にも、役員だけが企業の存在を知っているのではなく、参加者に紹介し、知ってもらうことが必要。
- ・イベントでは初対面の人でも話がしやすいように、スタッフだとわかるようにしてはどうか。
- ・定年年齢の延長等が実施されている中、町会でも次の担い手がない現状がある。
- ・地域活動に参加されていない人の中にも特技を持っておられる人材が埋もれている。そんな方たちに自分でも地域に貢献ができることに気付いてもらえるようにたくさんの役を作って、参加していただくことが必要。例えば、在宅でもできる広報紙のデザイン等をしてもらう。
- ・SNSや回覧板、掲示板での情報発信も並行して行う。

○「コミュニティ力向上部会」グループの意見発表（発表者：西尾議長）

- ・地活協や社協の役割分担が地域によって違う。
- ・防災をキーワードにするなどして集めてみてはどうか。
- ・マンションが新築の時に町会加入を促進する必要がある。
- ・広報誌も捨てられないように工夫することが必要。

**（３）「児童虐待ゼロに向けた子育て支援について」
各グループで意見交換を実施**

●資料４について説明

(武田保健・子育て支援担当課長)

○「教育・子育て部会」グループの意見発表（発表者：泉水議長）

- ・一度子育てサロンや子育て支援施設を利用すると良さを理解できるので、強制的にでも利用できるような「利用して当然」な状況を作るべき。
- ・子育て支援の活動を一覧表にして渡すだけではなく、個別に具体的な日時を伝えてはどうか。
- ・父親だけが参加できる日を設けてはどうか。（父の利用しやすい日程を設定）
- ・祖父母が遠くに住んでいる子育て世帯は負担が大きい。3世代同居世帯を増やすことも一つの案ではないか。
- ・3世代で楽しめる事業を行ってみてはどうか。
- ・悩みが解決できず、虐待につながるので、予防策として個人の悩みを聞き、子どもが生まれた後のストレスを軽減できれば良い。そのためには、子どもが生まれる前の人に向けて、施設や相談ができるという情報を伝えるべき。

○「安全・安心なまち部会」グループの意見発表（発表者：泉議長）

- ・子育てサロンはさらに周知を行うべきである。
- ・子育てサロンに常に保健師さんに来てもらうのが理想だが、現実的には難しいと思うので、相談先の紹介や子育てサロン利用者のニーズを把握するためのアンケートを実施してはどうか。
- ・今の子育てサロンの参加者は母親中心だ。
- ・地域では高齢者の方が集うふれあい喫茶等を実施しているが、子育て世代が情報を共有できるような喫茶があれば良い。
- ・子育てでしんどい時は、外に出て人と対面して話をする 것도ハードルが高いため、LINEで相談事を発信したり、相談ができるグループができたら良い。
- ・夜9時に「夢さん」から発信があるヨドネルのように、子育て層にもLINEを使用した同様の取組を行ってみてはどうか。

○「コミュニティ力向上部会」グループの意見発表（発表者：板谷委員）

- ・今は大人が子どもに声かけをしても返事をしないように指導されているので、子どもの見守りも難しくなっている。
- ・地域で民生委員や児童委員等が集まり実施している子育てサロンで、子育て層のつながりが生まれているので区役所も参考にしてみてもどうか。
- ・子育ての助け合いやストレス解消ができるようなママ友が必要。

- ・夏祭りのような人が集まる場所からつながりが生まれれば良い。
- ・コミュニケーションをとりやすい少人数の集まりが増えていくような働きかけを行うのはどうか。

(4) 「若年者層のニーズ調査について」 各グループで意見交換を実施

●資料4、資料5について説明 (松尾政策企画課長代理)

○「教育・子育て部会」グループの意見発表（発表者：泉水議長）

- ・「避難場所を知っているか」など単純に聞いてみてはどうか。
- ・「地域で活動してみたいか」、「興味のある活動なら参加したいか」を聞いてみてはどうか。
- ・「災害時にボランティアや避難場所開設等の活動をしたいか」を聞いてみてはどうか。
- ・区民アンケートとは別に区役所の窓口に来た若い方に待ち時間を利用してアンケートに記入いただくのはどうか。

○「安全・安心なまち部会」グループの意見発表（発表者：泉議長）

- ・問5は「知らないから難しい」を追加してはどうか。
- ・問18は「区役所の掲示板」、「回覧板」を追加してはどうか。
- ・問5や問8では、後ろ向きな設問ではなく前向きな設問に変更し、アンケートに答えていくうちに参加したくなるような設問にしてはどうか。
- ・選挙の投票済証のように、回答者が割引を受けられる等の特典を設ける仕組みを作るのはどうか。
- ・回答した方に、地域の祭りで特典を付けるのはどうか。
- ・回答率の地域対抗を行うのはどうか。

○「コミュニティ力向上部会」グループの意見発表（発表者：板谷委員）

- ・「貴重な意見を～」、「特別に選ばれた」などを書いてはどうか。
- ・「アンケート在中」と書いたら捨てられそう。
- ・粗品等のプレゼントをつける。
- ・プレゼントとして、区で行う婚活パーティーに無料招待する。
- ・単身者の方の意識をより深く、細かく分析する必要がある。

4. その他

●もと淀川区役所跡地等活用事業開発事業者募集プロポーザルの実施に関する報道発表について説明

(久保政策企画課長)

●体験型防災アトラクション®実施結果、淀川区防災LINEについて説明

(岡田市民協働課担当係長)